

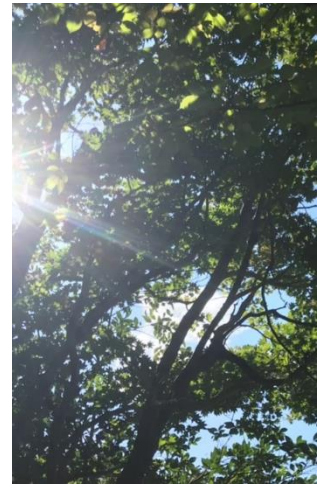


さまざまな「みる」

私たちが日常生活をしていると、当たり前風景、当たり前通学路を前にして、いつもと変わらぬ風景を特にしっかり「みる」ということはしないと思います。例えばこのカーブを曲がると、大きな木があるなどということはわかっていますが、どんな木があるのかとか、その木の幹の色はどうか、葉の形はどうかなど、特に意識しない限り何かをしっかりと「みる」ということはありません。しかし、それをしっかりみようとしたとき、何をみるでしょうか？ みる視点を持ち始めると、これまで見えなかったものが飛び込んできます。それは、「幹の模様」「葉の色」「種」など、普段みようとしなかったことがみえてきます。どのように「自然をみつめるか」によって「自然をみつめる感覚」が磨かれていきます。

これは、子育ても同じだと思います。日頃みようとしなかった、子供のよさを多面的にみてみると（リフレーミング※学校便り47号参照）、新たな気づきや新たな成長に気付いていくのです。「みる」には「見る」「観る」「視る」「診る」「看る」など多数の漢字があります。どの「みる」かによっても捉え方が違ってきます。あなたは、どの「みる」でお子さんを「みる」のでしょうか？

さて、早くも暑い夏がやってきましたが、先日、涼を求めて木陰に入って、上を見上げると、忌々しいと思っていた太陽の木漏れ日が優しくて、私の心と体を癒してくれました。



通知表について

6月10日の安心安全メールでお知らせした通り、昨年度に引き続き、今年度も通知表は9月と3月に渡します。1回目は9月16日（金）です。熊本市立の小学校では、通知表を年2回渡すようになっています。学期毎ではなく、年2回となって今年度で3年目です。本校の今年度の通知表配付日は、1回目が9月16日（金）、2回目が修了式の3月24日（金）となります。驚かれるかもしれませんが、通知表の作成は法的に義務付けられていません。子供の具体的な成長、日々の努力に目を向けずに、結果だけに捉われてしまうという理由で、作成していない学校もあるのです。

1回目の評価の中心は、1学期の学習となります。各担任が子供たちの学習について日々の見取りはもちろん、単元ごとのテストなどの結果も踏まえて、通知表作成を行っていきます。通知表は、お子さんの学習面や生活面の改善のための資料であり、今後に向けてさらに努力や継続を促すものです。是非通知表をお子さんを成長させるための資料として活かしてください。手元に届く9月まで、もうしばらくお待ちください。

